



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 ITbook 株式会社

コード番号 3742 URL <http://www.itbook.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO (氏名) 恩田 鏡

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 成一

TEL 03-6435-8711

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	578	65.1	△154	—	△147	—	△147	—
25年3月期第2四半期	350	—	△72	—	△72	—	△75	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △147百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △75百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△9.32	—
25年3月期第2四半期	△4.79	—

当社は、平成25年10月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	773	183	23.6
25年3月期	868	328	37.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 182百万円 25年3月期 327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	57.5	80	136.2	88	101.2	76	138.0	4.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っているため、平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	15,873,600 株	25年3月期	15,775,600 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	15,847,673 株	25年3月期2Q	15,678,000 株

当社は、平成25年10月1日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	9
（重要な後発事象）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした各種金融・経済政策により、企業業績や消費動向が改善するなど景気回復の兆しが見られるものの、新興国の経済停滞の影響が懸念されることもあり、力強さに欠ける状況が続きました。今後の成長戦略に基づく期待感はあるものの、当社グループが事業領域とする情報システム業界においては、顕著な効果はまだ見られません。

しかし、当業界は「クラウドコンピューティング」や社会保障・税番号制度に象徴されるように変革期を迎えております。当社を取り巻く環境も、自治体クラウド推進機運の高まり、番号制度の創設、文字情報基盤の整備等大きく動き始めております。

このような環境のもと、当社グループは、成長力の高い企業集団を目指し、優秀な人材確保を積極的に進め、クラウド、番号制度等を中心にコンサルティングメニューの拡大、質的向上を図り、受注活動を進めてまいりました。

コンサルティング事業におきましては、官公庁、地方自治体、独立行政法人をはじめとした公共部門の主要な売上高が3月の連結会計年度末に集中する傾向があるため、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期とほぼ同水準で推移いたしました。

システム開発事業におきましては、コンサルティング事業とのシナジー効果を狙い、業務範囲の拡充と事業領域の拡大を積極的に進めました。また、当第2四半期連結累計期間には、動画配信、Webシステム開発を中心に事業展開をするシーエムジャパン株式会社およびマーケットデータシステム、外国為替関連開発に特化したフロント・アプリケーションズ株式会社を連結子会社といたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は578百万円（前年同四半期比 65.1%増）、営業損失は154百万円（前年同四半期は72百万円）、経常損失は147百万円（前年同四半期は72百万円）、特別利益に、平成25年7月事務所移転に伴う受取補償金10百万円等を計上しましたが、四半期純損失は147百万円（前年同四半期は75百万円）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

コンサルティング事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は138百万円（前年同四半期比 3.4%減）、セグメント損失は132百万円（前年同四半期は67百万円）となりました。

システム開発事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は441百万円（前年同四半期比 112.6%増）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期は11百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、773百万円（前連結会計年度末比94百万円減少）となりました。

これは主に、現金及び預金が21百万円、仕掛品が71百万円それぞれ増加したものの、受取手形及

び売掛金が213百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、590百万円(前連結会計年度末比50百万円増加)となりました。

これは主に、買掛金が18百万円減少したものの、短期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、183百万円(前連結会計年度末比145百万円減少)となりました。

これは主に、四半期純損失147百万円の計上に伴う利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	161,903	183,324
受取手形及び売掛金	387,441	174,330
商品	-	9,058
仕掛品	2,113	73,303
貯蔵品	443	758
その他	11,774	17,636
貸倒引当金	206	247
流動資産合計	563,468	458,164
固定資産		
有形固定資産	10,715	19,190
無形固定資産		
のれん	219,731	223,384
その他	5,247	6,805
無形固定資産合計	224,978	230,189
投資その他の資産		
その他	70,161	66,991
貸倒引当金	609	609
投資その他の資産合計	69,552	66,382
固定資産合計	305,246	315,761
資産合計	868,715	773,926
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,316	45,598
短期借入金	120,500	188,500
1年内返済予定の長期借入金	19,080	43,500
未払法人税等	13,788	8,250
賞与引当金	14,993	27,500
役員賞与引当金	1,750	3,800
その他	149,481	93,352
流動負債合計	383,910	410,501
固定負債		
長期借入金	119,020	142,948
その他	36,957	36,957
固定負債合計	155,977	179,905
負債合計	539,887	590,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	881,369	883,168
資本剰余金	151,299	153,097
利益剰余金	705,571	853,310
株主資本合計	327,096	182,955
新株予約権	1,731	404
少数株主持分	-	160
純資産合計	328,827	183,519
負債純資産合計	868,715	773,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	350,553	578,674
売上原価	220,804	427,805
売上総利益	129,749	150,869
販売費及び一般管理費	202,554	305,145
営業損失()	72,804	154,275
営業外収益		
受取利息	43	124
受取出向料	-	6,500
助成金収入	168	11
その他	60	1,583
営業外収益合計	272	8,219
営業外費用		
支払利息	106	1,822
その他	-	0
営業外費用合計	106	1,822
経常損失()	72,638	147,878
特別利益		
固定資産売却益	-	220
受取補償金	-	10,486
新株予約権戻入益	93	-
特別利益合計	93	10,706
特別損失		
固定資産除却損	-	1,111
本社移転費用	-	3,186
特別損失合計	-	4,297
税金等調整前四半期純損失()	72,544	141,469
法人税、住民税及び事業税	2,624	6,368
法人税等合計	2,624	6,368
少数株主損益調整前四半期純損失()	75,169	147,838
少数株主損失()	-	99
四半期純損失()	75,169	147,738

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	75,169	147,838
四半期包括利益	75,169	147,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,169	147,738
少数株主に係る四半期包括利益	-	99

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	72,544	141,469
減価償却費	1,263	2,279
のれん償却額	17,578	29,703
株式報酬費用	51	21
貸倒引当金の増減額(は減少)	609	40
賞与引当金の増減額(は減少)	7,844	12,506
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	2,050
受注損失引当金の増減額(は減少)	4,957	-
新株予約権戻入益	93	-
固定資産売却損益(は益)	-	220
受取補償金	-	10,486
固定資産除却損	-	1,111
移転費用	-	3,186
受取利息及び受取配当金	43	124
支払利息	106	1,801
売上債権の増減額(は増加)	199,944	227,691
たな卸資産の増減額(は増加)	50,716	78,015
仕入債務の増減額(は減少)	1,887	27,080
未払消費税等の増減額(は減少)	7,433	9,001
その他	11,278	14,108
小計	104,774	114
利息及び配当金の受取額	36	140
利息の支払額	97	2,506
補償金の受取額	-	10,486
移転費用の支払額	-	3,186
法人税等の還付額	29	205
法人税等の支払額	2,917	11,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,826	6,706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	17,672
無形固定資産の取得による支出	1,630	462
固定資産の売却による収入	-	8,827
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出	61,739	62,155
短期貸付けによる支出	8,000	-
短期貸付金の回収による収入	1,500	43,774
敷金及び保証金の差入による支出	3,075	18,876
敷金及び保証金の回収による収入	-	22,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	72,944	23,630
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	68,000
長期借入金の返済による支出	5,360	18,491
新株予約権の行使による株式の発行による収入	356	2,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,003	51,757
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	23,878	21,421
現金及び現金同等物の期首残高	50,093	161,903
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,971	183,324

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンサルティング 事業	システム開発 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	142,965	207,588	350,553	350,553		350,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	142,965	207,588	350,553	350,553		350,553
セグメント利益又は 損失()	67,223	11,051	56,171	56,171	16,632	72,804

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 16,632千円には、セグメント間取引消去945千円、のれん償却額17,578千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成24年5月30日に東京アプリケーションシステム株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、第1四半期連結累計期間において、のれんが263,677千円増加しております。

なお、当該のれんの償却額は報告セグメントに配分しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンサルティング 事業	システム開発 事業	計			
売上高						
外部顧客に対する 売上高	138,085	440,589	578,674	578,674		578,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高		681	681	681	681	
計	138,085	441,270	579,355	579,355	681	578,674
セグメント損失()	132,118	1,804	133,922	133,922	20,353	154,275

(注) 1. セグメント損失()の調整額 20,353千円には、のれんの償却額 29,703千円、セグメント間取引消去9,350千円が含まれております。

2. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間において、シーエムジャパン株式会社及びフロント・アプリケーションズ株式会社を連結子会社とし、「システム開発事業」セグメントに区分しております。

これに伴い、当社が営む事業を「コンサルティング事業」に、東京アプリケーションシステム株式会

社、シーエムジャパン株式会社及びフロント・アプリケーションズ株式会社が営む事業を「システム開発事業」に、それぞれ区分しております。

なお、前第2四半期連結累計期間において「業務・システム最適化ソリューション事業」及び「システム構築事業」としていた報告セグメントの名称は、それぞれ「コンサルティング事業」及び「システム開発事業」に変更しております。これらの名称変更に伴う報告セグメントの区分の実質的な変更はありません。これに伴い前第2四半期連結累計期間のセグメント情報における報告セグメントの名称を、変更後の名称で記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年4月にシーエムジャパン株式会社及びフロント・アプリケーションズ株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、のれんが30,020千円増加しております。

なお、当該のれんの償却額は報告セグメントに配分しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。